

まちだの未来の設計図 町田市5ヵ年計画17-21

2018年度はこんなことに取り組みました

皆さんは「町田市5ヵ年計画17-21」をご存じですか。これは、町田市の基本計画である「まちだ未来づくりプラン（2012年度～2021年度）」の後期5年間の計画で、市が力を入れて取り組む事業を示したものです。市民の皆さんや市外に住む方に「まちだって住みやすい」、「このまちが好

き」と思ってもらえるよう、町田市を元気にするためのいわば「まちだの未来の設計図」です。「重点事業プラン」「行政経営改革プラン」「財政見直し」の3つで成り立っています。この計画に基づいて、2018年度に取り組んだ事業の主な成果を紹介します。 [行政経営改革室 ☎724・2503](#)

「町田市5ヵ年計画17-21」2018年度の取り組み結果は、町田市ホームページまたは市政情報課（市庁舎1階）でご覧いただけます。 [市HP](#) [5ヵ年計画17-21](#) [検索](#)

行政経営改革プラン

市民サービスの向上 「見直そう！“伝える日本語”推進運動」を開始

通知文やお知らせ、窓口における言葉遣いなどについて、市民の皆さんの視点に立ち、市からの情報を分かりやすい日本語でお伝えする「見直そう！“伝える日本語”推進運動」を開始しました。



市内在住の石橋光穂さん、加藤時子さん、山本葉穂さんがシンボルマークをデザインしました。

市役所の生産性の向上 事務の効率化や他自治体との比較分析に基づく業務改善

財務会計事務や庶務事務など、市の全部署に共通する事務事業について見直しを行いました。また、他自治体との比較分析を実施した。国民健康保険業務や介護保険業務などの事務事業について見直しを行いました。これらの取り組みの結果、職員15.1人分の人件費を削減しました。

こんなふうに進んでいます

重点事業プラン

2019年11月まちびらき “南町田グランベリーパーク”

鶴間公園の整備を開始するとともに、スヌーピーミュージアムやまちライブラリー、子どもクラブなど、新しいまちの中心となるパークライフ・サイトの施設計画をまとめ、まちびらきに向けた準備を進めました。

[南町田拠点創出まちづくりプロジェクト](#) [検索](#)



2020年4月開園 “町田薬師池公園四季彩の杜 ウェルカムゲート”

2020年4月に予定している町田薬師池公園四季彩の杜西園の開園に向け、地域情報の案内所やレストラン、地元農産物の直売所を備えた「ウェルカムゲート」の整備工事に着手しました。



町田薬師池公園 四季彩の杜 プロモーションサイト



ウェルカムゲート(イメージ)

多摩都市モノレール町田方面延伸を見据えたまちづくりへ

小田急電鉄(株)及び(独)都市再生機構と、多摩都市モノレール町田方面延伸を見据えたまちづくりに関する協定を締結しました。今後は、モノレール延伸を契機とした中心市街地の新たなまちづくりや、小山田桜台団地を含む大規模団地の再生について、連携・協力して取り組んでいきます。

世界のトップアスリートが町田へ

ラグビーワールドカップ2019™大会では、ナミビア代表の公認チームキャンプ地に決定しました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、インドネシア共和国、中国、南アフリカ共和国の3か国、7競技(南アフリカ共和国は受け入れ競技を調整中)の事前キャンプ地に決定しました。



ナミビア ラグビー (ラグビーワールドカップ2019™)



中国 卓球・バレーボール・パラバドミントン・水泳(競泳)



インドネシア共和国 パラバドミントン・空手・バドミントン



南アフリカ共和国 受け入れ競技を調整中

タブレット端末を使った次世代のICT教育を開始

2020年度から始まる新学習指導要領に対応し、児童・生徒の学習意欲を高め、課題を見つけて解決する力を育てるため、市立小学校19校と中学校7校にプロジェクター等の大型提示装置を設置しました。また、教員及び児童・生徒へタブレット端末を配布しました。



大型提示装置を使った授業

タブレット端末を活用した授業

全国に先駆けて町田市ならではの英語教育を開始

2020年度の小学校における英語教育の本格導入に先立ち、市では2018年度からすべての市立小学校で新学習指導要領に基づく英語教育を実施しています。また、小学校16校において、放課後英語教室を開始しました。

英語の発音を学ぶことや国際理解を深めることを目的とし、ALT (Assistant Language Teacher: 外国語指導助手) をすべての小・中学校に配置しました。また、ALTが児童に母国の文化を紹介する「イングリッシュ・フェスタ」などの国際交流活動を、小学校6校で実施しました。



子どもの市政参画の取り組みを、(公財)日本ユニセフ協会が高く評価

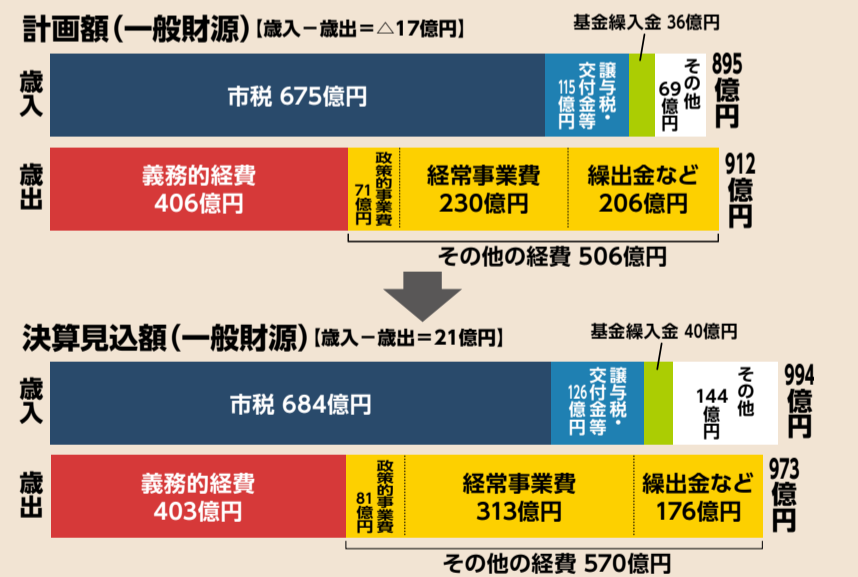
市では、高校生を評価に加え、高校生の意見を市の事業の改善に反映する「市民参加型事業評価」や「若者が市長と語る会」など、子どもが市政に参画する取り組みを行っています。これらの取り組みが、世界各国で進められている「子どもにやさしいまちづくり事業」の日本展開を目指す(公財)日本

ユニセフ協会から高く評価されました。市は、同協会から委嘱され、日本型「子どもにやさしいまちモデル検証自治体」としての取り組みを開始しました。

2018年度財政見直しと合計決算額の比較

財政見直し

計画額に対する2018年度の決算見込額は、以下のとおりです。歳入は、徴収率の向上や景気の回復傾向などから「市税」が計画額を上回ったほか、いずれの項目でも計画額を上回りました。歳出は、義務的経費では「扶助費」、その他の経費では「繰出金等」などが計画額を下回りましたが、その他の経費で「経常事業費」や「政策的事業費」などが計画額を上回りました。



※表の金額は、四捨五入による端数処理を行っているため、合計額と合致しない場合があります

計画の達成状況

